

ニーズの高い送迎ボランティア

ひよこ会会長 根岸 満恵

【※「ひよこ会」…鶴見区知的障害者親の会】

学齢期の知的障害児がいる家庭では、殆どの親が通学の送迎をしています。小学校、中学校、高校と続く送迎も日課になっているので、生活の中につまみ組み入れています。ひとたび家族が入院したり、急な不幸があった時は、パニックになります。

親が病気で送迎ができず、子供に学校を休ませてしまうこともあります。それとは逆に、這ってでも子供を学校に連れて行くという話も聞きます。子供がいると病気で体を休めることができない、病院にも行けないという理由からです。また、下の子を出産する時、障害児の送迎をどうしたらいいかと心配していた妊娠中のお母さんもありました。

ボランティアコーナー

★たまごっこ 友だち・ボランティア大募集！

障害のある小学校4年生から高校生の子どもたちと、高校生・大学生など、20代を中心としたボランティアが2ヶ月に1回「お友だち」を集まって活動しているグループです。

遊ぶ時は友だちのように皆でおもいっきり楽しく遊ぶ事が目的です。皆さんも「お友だち」として一緒に楽しいひとときを過ごしませんか。

鶴見区社会福祉協議会を拠点に活動しています。詳しくは、お問い合わせ下さい。



連絡先 深井 恭秀
携帯 090(2442)3520
e-mail: tamagokko@mail.goo.ne.jp

★配食ボランティア募集！

潮田地域ケアプラザを中心に、「ランチさるびあ」が作ったお弁当を配達しています。ボランティアと受け取る人の心がふれ合い、そこから…

ボランティアは元気を、利用者は安心をもらいます。

こんな活動に参加しませんか！
◇曜日と時間 毎週火・木曜日
11時～12時30分

◇配達範囲 JRから海側
(潮田地域ケアプラザのエリア)

◇配達方法 徒歩または自転車
連絡先

サークル鶴の恩返し
鶴見区本町通4-171-23

潮田地域ケアプラザ内
TEL 045(507)2929
FAX 045(507)2930



★第10回全国ボランティアフェスティバルがわ

各地で活躍するボランティアが、さまざまな経験を持ち寄り、多彩なプログラムを通じて交流することを目的に開催されます。

今年のテーマは「一人ひとりがひろくボランティアの世紀」。

21世紀のボランティア活動をみんなで考えましょう！

日時 平成13年9月22日(土)23日(日)
メイン会場 パシフィコ横浜
サブ会場 横浜ボール

川崎市国際交流センター
あーすふらざ

お問い合わせ
第10回全国ボランティアフェスティバルがわ実行委員会

横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2
TEL 045(312)1121

FAX 045(312)8184

あすも

区社協からの報告

「第3回つるみ福祉ボランティアフォーラム」の開催。

去る11月29日(水)午後2時から鶴見大学会館ホールにおいて、開催いたしました。今年度のメインテーマを「地域福祉活動における今後のボランティアの役割」とし、基調講演とパネルディスカッションの形で行いました。

基調講演の講師は、東京ボランティア・市民活動センター所長であり、明治学院大学副学長の山崎美貴子氏にお願いいたしました。ソフトな語り口で、地域の福祉を作っていくのは、住んでいる私たちであり、地域は自分たちで作っていくものであること、またひとりよがりにならないようお互いに学び合う活動や情報交換ができるようネットワークをどう作るかが今後ボランティア活動が広がっていくポイントになる等、示唆に富むお話をいただきました。

パネルディスカッションでは助言者に横浜社会福祉協議会ボランティアセンターの下嶋課長をお迎えし、地域におけるそれぞれの活動の代表の方々から発表いただきました。

高齢者福祉関係 森藤 清子氏
(たすけあいグループ「うみお」)

障害者福祉関係 加瀬 一枝氏
(獅子ヶ谷自治会婦人部)

地域福祉関係 一柳 保雄氏
(市場地区社会福祉協議会会長)

福祉拠点活動 多比羅千賀子氏
(潮田地域ケアプラザコーディネーター)

それぞれに深い思いを持って活動されていることが伝わってきました。

また、会場の外では活動紹介のパネルやチラシを展示しました。

このフォーラムを通じてもっともっと情報交換・意見交換の場が広がり、住みよい鶴見のまちづくりにつながることを期待しています。

福祉つるみ

題字：横井 久運氏

第35号 平成13年3月31日発行

編集・発行 社会福祉法人
横浜市鶴見区社会福祉協議会
鶴見区鶴見中央4-32-1
UNEXビル5F
TEL. 504-5619
FAX. 504-5616
印刷 朝日オフセット印刷株式会社

本紙は自治会・町内会のご協力で全世帯に配布しています。

第19回鶴見区社会福祉大会が開催される

今年も、区内で福祉活動に携わってこられた方々への感謝と社会福祉の啓発を目的として平成13年2月17日、鶴見公会堂において、「第19回鶴見区社会福祉大会」が開催されました。

第一部

「元気な子どもたちを育てるには」と題して横浜市教育センター所長の岡本勝利先生にご講演をいただきました。教員・校長・教育委員会での経験から、詳しいデータをもとにお話いただきました。先生が感極まる場面もあり、先生の教育に対する熱い思いが伝わってきました。

講演の概要

今の子どもは自然体験が少なくなってきたり、子ども自身の考え方、価値観も変わってきた。調査から分かることで一番問題なのは、小学生の自己評価の低さで、子どもたちは一見元気に見えても、内心は自信がない。自信を持って自分を出せる子どもを育てねばならない。また子どもたちは、将来のために努力することへの価値観が低く、頑張っても何ともならないと思っている。これは教育にも責任があり、大人の側にも問題がある。子どもの成長とともに育ち方に不満を持つのが日本の特徴で、これが子どもが自信を持てない要因にもなっている。

いじめ相談は母親からのものが多く、子どもを思いやるのはわかるのだが、過度に不安に思うとそれが子どもにも伝わり子どもも不安になる。それに對し、いじめの多発した時代にも父親は登場してこなかった。父親の出



この活動を通して、自分自身は生きていく意味がある、生きている喜びを持っているという自己存在感を実感させることが教育であり、そうすることにより、やる気、自信が内面から出てくる。

これからの横



第二部

浜市は「まち」とともに歩む学校づくりを進めていく。地域に出て行く、地域に入ってもらうことで特色ある学校を作っていく。様々な関わりの中で地域の調整役としてのコーディネーターが必要になってくる。子どもたちを「まち」全体で育てていくことに「理解」協力をお願いしたい。

表彰された方々

区内で社会福祉の推進に貢献された方々の表彰式典が行われました。

・障害を克服し社会的経済的に自立された障害者自立功

労者 1名

・民生委員、自治会・町内会長、保護司などとして活躍され

退任された方や地区社会福祉協議会役員等の社会福祉功労者 8名

・ボランティア活動などを積極的に行ったボランティア活動功労者 20名

・寝たきりなどの高齢者を長年介護された介護功労者 16名

・福祉推進のために金品を寄せられた善意銀行寄付者 31名・28団体

これらの皆さん方に鶴見区社会福祉協議会会長・鶴見区長より表彰状・感謝状が贈呈されました。

会場には区内の障害者地域作業所活動ホームの方々で作った作品の展示も行われ、約500人の参加者でにぎわいました。

地区社協活動紹介(第4回)

寺尾第二地区社会福祉協議会
会長 横井 久運

【若いも若きも健康づくり】

10月28日、「福祉保健講座」を寺尾地区センターの体育室に於いて開催した。平成6年に第1回を実施してから、毎年開催して既に7年目になる。内容は「柔軟性の体前屈・握力テスト・バランス感覚の開眼片足立ち・反射神経の棒反応・各種(血圧、肺活量、体脂肪、糖度)測定・アルコールパッチテスト・リフレッシュ体操・健康チェック・リハビリ車椅子体験・介護用品展示・子供の伝承遊び・けん玉お手玉」等であり、広い体育室いっぱいそれぞれコーナーを設けて行われた。民生委員児童委員、保健指導員・体育指導委員・青少年指導員、子供育成会の皆さん、各自治会の婦人部長、ヘルスメイト、介護用品のトータルヒューマンサービスの皆さん、「自然館」の人達、「ふれんどーる鶴見」の人たちなどの協力もあり、合計12名の参加のもと行われました。

既に7回目なので、お手伝いいただいた方も手慣れたもので、



若いも若きも健康づくり

次々に並ぶ参加者をよどみなくさばいていた。また、体脂肪の測定コーナーは関心があるのか、行列ができるほどであった。

測定するコーナーだけではなく中央の部分に伝承遊びのコーナーも設けたので、小・中学生に人気があり、会場を賑わした。

【寺尾第二地区福祉大会】

7月25日に寺尾地区センターに於いて、寺尾第二地区福祉大会が開催され、15名の参加があった。本年は特に、長年社会に貢献されてこられた高齢者などを対象にご招待し、愉快地楽しいひと時を過ごしていただいた。

「これからの健康」と題して、鶴見保健所長の辻本愛子先生からご講演をいただき、引き続き演芸につつま 野毛大道芸で活躍の、



寺尾第二地区福祉大会

横浜大道芸クラブ会員・飯田志保さんと、数回出演してもらって大変好評であり、本年も参加者からの要望が多かった、横浜マジック三楽会の溝幡捨雄さんのマジックショーを楽しんだ。

そのあと、ご招待したお年寄り、地区内の町会長、保健指導員、地区代表、婦人部長地区代表、老人クラブ地区代表、友愛活動推進員チームリーダー、そして、お手伝いいただいた民生委員・児童委員の方々も一緒に会食をした。

福引、プレゼントがあり、余興ではカラオケや踊りに拍手を打ち最後は多くのお年寄りが舞台上がり、踊りの輪が広がった。名残りをおしみながら散会となった。

*今回は、生麦第二地区社会福祉協議会です。

老人クラブ活動紹介
「クラブ活動に」思う

原東老人クラブあづま会

会長 鈴木 一男

生麦の旧運河の埋立地が、昨秋「生麦ノ浜緑地」として生まれ変わり、子供の遊び場、お年寄り向きの散歩コースとして親しまれていきます。私も時折ジャンパーの襟を立て、信号や車を気にせずに、そぞろ歩きを楽しみ、途中会員と出会い、一寸とした立ち話も安らぎのひと時です。

そんな地域にある原東老人クラブあづま会では、新年会も終わり次の行事が気になるこの頃になりました。限られた条件で内容(メニューやお楽しみ・費用等役員会で検討しています。長年続けると食傷気味ですが、より魅力あるものを、と考えながらあれこれ話し合っているとつい夢中になります。これも遊び心か、企画の楽しさです。どうにか無事に終わると本当に「ホッ」とします。

年間何回の行事も会員の事情から、①会館やセンターで行うもの、②散策等ウォーキングが主体のもの、③ふれあい旅行、に大別されますが、いずれにも参加出来ない会員が多く、高齢者・独居者の安否確認や慰問、入院者の見舞、全会員への誕生日祝等、キメ細かい対応も求められます。

昨年は思いもよらず、多くの会員とお別れし、名簿に棒線を引く度に、人の世の常とは云え、惜別の思いにかられます。

年度末を控え、会員に迎えたい、あの人、この人を指折り数えるこの頃です。

カタログ “鶴っこ” ってなあに?

障害児・者が、鶴見区内にある地域活動ホームや地域作業所等で陶器や縫製品、革製品、クッキーなどを作って、販売しています。このたび、これらの製品を紹介するカタログができました。このカタログを“鶴っこ”と名付けました。ふれーゆや矢向地域ケアプラザ、末吉地区センター、鶴見図書館で製品の展示、販売をしておりますので、どうぞご利用ください。

なお、鶴見区役所においても近々に展示を行う予定です。

カタログのお問い合わせは、鶴見区社会福祉協議会へお願いします。電話(504)5619



きょうこのごろ
つるみ地域活動ホーム 幹(みき)
所長 長崎 克一

昨年11月、多くの方々のご支援とご協力により開所した「つるみ地域活動ホーム 幹(みき)」の活動も徐々に落ち着きはじめてきているように思えます。障害のある方々のデイサービスでは、これまで作ったこともないパンを職員が利用者とともに焼いています。当初、焼き上がりの色や形にムラがあったパンも、このところ街のパン屋さんに近づいてきた? ようです。春頃から多くのおみなさんの食にたえられるよう準備をすすめています。

ところで。デイサービスで行っている入浴サービスもおかげさまで好評をいただいております。フル回転の状態です。これから希望される方へどう利用していただくかうれしい悩みを抱えはじめています。また、昨年12月、障害のある子もいない子も母親と一緒に参加しての「音楽であそぼう」が開催され、和やかに音楽を楽しみました。相談事業の「障害者生活講座」では、自分の暮らしを考えたりと徐々に企画事業も動き始めました。今後も地域の暮らしに役立つところとして、期待されるよう努力を重ねていきます。



《グループ紹介》

●ハート・ホット
平成10・11年度の生涯学級一思春期ネットワーク「蒼い空」で出会ったメンバーが月に1回集まっています。主に思春期の子どもと関わっている大人が、一緒に悩み、考え、聴いたり、話したりと大切な情報交換の場となっています。例えばひきこもり、不登校、自分のこと、家族のことと話題は尽きません。

誰でも来て、何でも話して、スッキリできる。そして誰もが支えられる人であり、誰もが支える人である。そんな心の居場所作りを鶴見区に築いていきたいと思っています。

あなたもハート・ホットであたたくませんか?
活動日 第3水曜日(10時~12時)
連絡先 大笹 (午前中のみ)
TEL045(581)7851 FAX045(574)3553

サルビア

これもIT(情報通信技術)か

介護保険制度が始まって早くも1年が経とうとしています。

時に長く、時に短く感じた1年間でしたが、実際は準備期間を入れば1年以上の時を有しているわけ、人からは「大変だね」と言われましたが、制度改革切替時に現場で立ち会えたことは、個人的に感慨深いものになっています。しかし制度改革よりもっと大きな変化が現場にはありました。

それは業務のOA化、システム化です。急激に押し寄せたOA化は、それまで社会福祉の現場(特に現業)において業務に占める割合が10%程度だったものを飛躍的に押し上げて、今では50%以上の割合を占めるようになっていきます。この状況については賛否両論があると思います。が、今後のことを考えれば個人に對する記録を全国共通の形で適正に保存し、有効活用することが出来る環境が整いつつあるのです。これによって職員の事務処理が軽減され、処遇技術の向上がはかれ、ひいては利用される方のサービス内容が向上することにつながると思います。

どうです、「パソコンなんかいいやだ」というみなさん。開き直ってOA機器と向き合ってみませんか。寺尾地区センター館長

△元潮田地域ケアプラザ所長

(山下順三氏)



災害ボランティア関係事業を実施しました！

地域のネットワークが日頃から耕されていってこそ、いざというときにすぐに助け合えるのではないかと、災害というキーワードで地域のネットワークを結ぶきっかけづくりになればと、横浜災害ボランティアネットワーク会議と鶴見区ボランティアグループ・関係機関で組織した実行委員会、次の事業を実施しました。

①災害ボランティアコーディネーター研修会
日 時：12月9日（土）午後1時30分～
会 場：鶴見区福祉保健活動拠点
多目的研修室
参加者：115名

プログラム

□災害に関するクイズ（景品あり）
クイズの結果は惨憺たるものでしたが、楽しみながら災害への関心を高めることができたようです。

□リレートーク

郵便局、水道局、マンション管理会社、中途障害者の会、視覚障害者支援のボランティアグループ、国際交流の会、鶴見救急法研修会、それぞれの立場から「災害」を考える上でのヒントをたくさんいただきました。

□くりくらんタイム

ボランティアグループ「くりくらん」による手遊びなどのミニ講習会で顔も気持ちもリフレッシュ。

□講演

講師 筒井のリ子氏（慶応大学社会学部助教授）
阪神淡路大震災時の体験を交えたお話は、コーディネーター経験のない私たちにコーディネーターの存在や役割の重要性に改めて気づかされた深い内容でした。

②災害ボランティアシミュレーション事業
日 時：2月25日（日）

午前10時～午後2時30分
会 場：潮田地区センター・汐入小学校体育館
参加者：314名

〈活動内容〉

情報部会、障害者救済部会、ファミリ部会、物資輸送部会、レスキュー部会、国際部会の6つに分かれ、それぞれ活動メニューを作り、ボランティア募集のめをとりました。参加したボランティアに活動内容を選んでもらい、人数が集まったらコーディネーターからオリエンテーションを受け、活動に入りました。



ロープワーク実習

お昼は、おにぎり、ボランティアグループ「キビタスの会」による豚汁でした。大変おいしかったと好評でした。

午後は、グループや部会ごとの感想をまとめ、各部会からの報告と災害ボランティアネットワーク会議の代表古村恭二氏の講評で締めくくりました。

各部会から出された課題を整理し、今後のネットワークづくりに役立てていきたいと考えています。

最後に、実行委員の方々の熱意に敬意を表するとともに、力を尽くしてくださった参加ボランティアの皆さんに感謝いたします。

善意の寄付をありがとうございました。

平成12年7月1日～平成12年12月31日（ ）内は寄付回数です。
*金銭をお寄せいただいた方々

貴田 米吉様(3)	小野岩雄・輝子様	内田 八江子様	股野 藍子様
阿佐貞太郎様(6)	小嶋 七郎様	兼子 ハル様	中川 きよの様
白 蓉子様(6)	平井 洵子様(2)	兼子 廉様	佐々木 悦子様
小野 梅子様(3)	藤井 和夫様	川尻 久夫様	大塚 悦子様
西脇 和子様(2)	戸井田啓治様(2)	藤堂 千工様	杉崎 廣元様
竹村 タカ様(3)	樋高 禮子様	米山 マツ様	匿名(7)
工藤高之祐様(5)	五神 嘉子様	須田 和榮様	
小野芳太郎様(3)	亀山 實様	小高 光江様	
齋藤 百合子様	岩崎 ユキジ様	渋谷 栄子様	

末吉地区センターチャリティダンスパーティー様
横浜東部地区連合様
横浜市矢向地区センター様
神奈川土建 一般労働組合横浜支部鶴見南分会様
神奈川土建 一般労働組合横浜支部鶴見西分会様
神奈川土建 一般労働組合横浜支部鶴見東分会様
あゆみ会様
森永製菓(株)鶴見工場チョコレート・食品GRR納涼祭
実行委員会様

草の実会様
キビタスの会様
鶴見区婦人団体連絡協議会様
鶴見区仏教婦人会様
鶴見区仏教婦人会様
社団法人鶴見法人会様
上の宮中学校盆踊り会参加 生徒一同様
鶴見区ボランティア連絡会様
鶴見区視覚障害者福祉協会様
おっさんネットワーク様
日本ボーイスカウト鶴見区連絡会様
三世代ふれあい光の子フェスティバル東台小学校様
NKKK鶴見事業所様
潮田地区センターチャリティダンスパーティー
実行委員会様

TEPCOふれあいデー2000事務局様
有限会社ユタカ様
横浜火力発電所トウニーチャリティコンペ事務局様
鶴見生活衛生営業組合協議会様
ベルロードちびっこ王国様
レッツダンス・ロイ様
末吉地区センター創立20周年記念チャリティダンスパーティー様
オール市場社会福祉協議会様
鶴見区聴覚障害者協会鶴見区名手話サークル会様
鶴見区内特定郵便局様
COOPかながわ地域ふれあいまつり実行委員会様
鶴見区消費生活推進員様
横浜市生麦地区センター様
鶴見区更生保護婦人会様
社団法人鶴見法人会女性部様
岩田バレエ団様
横浜鉄工建設(株)様
(株)ニユーヨー様
旭硝子労働組合様
旭硝子労働組合京浜支部様
旭硝子労働組合本社支部様
別所ベアーズ様
*物品をお寄せいただいた方
小山 みよし様
田中 美佐子様
簡 照子様
藤原 頼子様
柴岡 明様
鶴見建材(株)様
林 廉民様
友愛の家様
友野 美恵子様
吉兆グループ様(6)
手話サークルあいいうえお様
神奈川県宅地建物取引業協会横浜鶴見支部様



平成12年度鶴見区社会福祉協議会企業賛助会員名簿

(平成13年 2 月23日現在)

【賛助会員加入のお礼】

この度は、多数の皆様に賛助会員に加入して頂き、誠にありがとうございました。

ご協力を頂いた賛助会費は高齢者の会食・配食などの地域の福祉事業、ホームヘルパー 3 級養成事業、障害者の支援、送迎サービス事業、ボランティア活動など区社協や地区社協が行う様々な福祉事業に活用させていただきます。

皆様のご厚志に深く感謝申し上げます。

社会福祉法人横浜市鶴見区社会福祉協議会
会 長 横 井 久 運

〈企業・団体名〉

土屋塗装株式会社 株式会社 流組 様
株式会社 佐伯電 様
株式会社 新川電 様
株式会社 上洲屋紙 様
山田塗装工業株式 様
鶴見青会社 告ノ 様
株式会社 山崎工務 様
東明ライオン工業株式 様
株式会社 東海林製 様
株式会社 貿易株式 様
へルムス製機株式 様
菅澤鍍金化学株式 様
岩瀬建設株式 様
株式会社 飯島製作 様
朝日オフセット印刷株式 様
味の素ファインテクノ株式 様
横浜三菱油株式 様
神奈川舗装株式 様
共栄電工株式 様
清徳運輸株式 様
田口建設株式 様
安武測量設計株式 様
東京電力株式 様
株式会社 鶴見支 様
萬運輸株式 様
株式会社 水品 様
ユ一テレビ株式 様
近藤機工株式 様
株式会社 北原不 様
株式会社 菅章夫 様
日本鋼管株式 様
株式会社 印刷株式 様
京浜安全システム株式 様
株式会社 ヨコ

鶴見石油株式 様
株式会社 宮本工務 様
株式会社 横濱工場 様
株式会社 ゼネラルエンジニアリング 様
神栄測量設計株式 様
株式会社 千代田企 様
株式会社 飯田 様
新栄運輸株式 様
株式会社 横濱スーパーファクトリー 様
三菱レイヨン株式 様
東京電力株式 様
大東通商株式 様
塩水港精糖株式 様
コスモ石油株式 様
横濱エスオーシー株式 様
鶴見倉庫株式 様
宇部三菱セメント株式 様
保土谷化学工業株式 様
味の素製油株式 様
株式会社 築港横濱営業所 様
太平洋製糖株式 様
日本埠頭倉庫株式 様
昭和産業株式 様
日産自動車株式 様
東日本処理企業株式 様
大黒インダストリアルパーク協同組合 様
鹿島道路株式 様
日本通運株式 様
鶴見菱光株式 様
横濱液化ガスターミナル株式 様
日本テクトロン株式 様
小松原興業株式 様
有限会社 隆章堂印刷 様
東京工販株式 様
株式会社 坂本茂商 様